

令和6年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警察本部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区 分	令和6年度	令和5年度	伸び率
予算総額	157,775,692千円	157,705,529千円	0.0%
一般会計構成比	7.4%	7.1%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

II 主な新規事業及び重要施策

1 県民の暮らしの安心確保

P 4	新規	ペーパーレス化推進事業 (債務負担行為)	【警務課】	97,122 (限度額 271,831)
P 5	一部新規	ICTの活用による多様で柔軟な働き方の環境整備	【警務課】	217,714
P 6	一部新規	サイバー犯罪等事態対処能力の強化	【サイバー捜査課】	68,441
P 7		越谷警察署の現在地改築	【施設課】	1,856,527
P 8		(仮称)川口北警察署の新設	【施設課】	1,388,610
P 9		交番・駐在所の改築 (債務負担行為)	【施設課】	9,599 (限度額 960,769)
P 10		岩槻高齢者講習センターの新設	【施設課】	119,075
P 11		交通安全施設の整備	【交通規制課】	4,656,182

2 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

P 12		警察情報管理システムの合理化・高度化	【情報管理課】	597,947
------	--	--------------------	---------	---------

新規

担当 文書課 次席
警務課 次席
警察本部内線 2511、2611

目的

埼玉県DX推進計画に掲げる「デジタル化による警察力の現場シフト」を実現するため、ペーパーレス化に向けた環境を整備し、紙による事務作業から脱却することで、県警察のデジタルトランスフォーメーションを大きく推進させる。

事業概要

1 ペーパーレス化推進事業 97,122千円 【債務負担行為】271,831千円

(1) 文書管理システム構築経費 【債務負担行為】271,831千円

- ・電子決裁機能を備えた新たな文書管理システムを構築
- ・文書事務のデジタル化による紙の削減及び円滑な業務の推進

(2) ペーパーレス化推進に向けた環境整備 97,122千円

- ・ペーパーレス化支援ソフトウェアや電子文書保管用ファイルサーバの導入
- ・保管文書や資料の電子化によるデータの共有及び活用の推進



一部新規

担当 警務課 次席
警察本部内線 2611

目的

テレワーク環境の整備により、職員が持てる能力をフルに発揮できる柔軟な勤務環境を構築し、警察力の維持・向上を図る。

事業概要

1 テレワーク環境の整備 217,714千円

(1) テレワーク端末の拡充整備 (新規) 118,797千円

- ・在宅テレワークの試行実施結果を踏まえたテレワーク端末250台の追加整備
- ・働き方の選択肢を広げるため柔軟に働ける環境を拡充整備

(2) テレワーク端末の試行運用費用 98,917千円

試行運用中のテレワーク端末50台の運用経費



サイバー犯罪等事態対処能力の強化

【予算額】68,441千円

一部新規

担当 サイバー捜査課 次席
警察本部内線 704-361

目的

サイバー空間の安全・安心を確保するため、サイバー犯罪等事態対処能力の向上を図る。

事業概要

1 民間の知見を活用した取組と環境整備による対処能力の強化

68,441千円

(1) サイバー空間の安全とモラルの確立

3,217千円

産学官が協働してサイバーセキュリティ対策を推進することにより、サイバー空間を利用する県民の安全・安心を確保するため、埼玉サイバーセキュリティ推進会議の運営やサイバー犯罪捜査に関わる必要な最新の知識、技術を有している専門家への嘱託等に係る費用

(2) サイバー犯罪対処能力の向上

10,628千円

捜査員の捜査力・解析力を強化し、県警全体のサイバー犯罪対処能力の向上を図るため、最新の知識・技術に基づく民間講習の受講や教養用資機材の整備に係る費用

(3) サイバー空間の脅威への対処に係る組織基盤の強化

825千円

迅速・確実な証拠の確保等、犯罪捜査支援のための解析資機材ライセンス料及び情報収集能力・追跡能力向上のための捜査資機材に係る通信料

(4) サイバー犯罪捜査の効率化

6,749千円

情報通信技術を悪用した新たな手口の犯罪に迅速かつ効率的に対処するための環境整備費用

(5) サイバー犯罪捜査力の強化 **(新規)**

47,022千円

情報通信機器の証拠収集と解析力を強化するための環境整備費用

新規・拡充内容

➤ 捜査力強化を図るための環境整備 **【新規】**

情報通信機器に保存されている重要な証拠を迅速・確実に収集することで、従来聞き込みや防犯カメラの精査等の代替捜査に費やしていた時間と労力を削減し、捜査力を強化するための環境を整備する。

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

管内の厳しい治安情勢に対応するための警察力を発揮するとともに、県民の利便性の向上を図るため、狭あい化が著しい越谷警察署庁舎の現在地改築を行う。

事業概要

1 越谷警察署庁舎の現在地改築 1,856,527千円（令和6年度）

（1）越谷警察署庁舎建設費（4か年継続事業第3年次） 1,856,527千円

〔新庁舎〕

- ・建設地 越谷市東越谷6丁目67番地6（現在地）
- ・敷地面積 8,094.2㎡
- ・庁舎規模 鉄筋コンクリート造 4階建て
8,050.24㎡

〔仮設庁舎〕

- ・建設地 越谷市東越谷7丁目11番地6
（現在地から南へ約160m）
- ・敷地面積 6,064.69㎡（駐車場含む）
- ・借上建物 軽量プレハブ造 2階建て
2,912.6㎡

〔建設計画〕

- ・令和2年度 基本設計・用地取得
- ・令和3年度 実施設計
- ・令和4～7年度 仮設庁舎等借上げ
- ・令和5～7年度 庁舎建設（旧庁舎解体含む）

総事業費 約76.3億円



（新庁舎イメージ）

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

川口市内の治安状況等に的確に対応するため、同市北東部地域に警察署を新設する。

事業概要

1 (仮称)川口北警察署の新設 1,388,610千円 (令和6年度)

(1) (仮称)川口北警察署庁舎建設費 (3か年継続事業第1年次) 1,388,610千円

〔庁舎概要〕

・建設地 川口市西立野地内
(都市計画事業石神西立野特定土地区画整理事業70街区等)

・敷地面積 6,673㎡
・庁舎規模 鉄筋コンクリート造 4階建て
約 5,000㎡

〔建設計画〕

・令和2年度 用地取得 (特別会計)
・令和4年度 基本設計
・令和5年度 実施設計・保留地購入
・令和6～8年度 庁舎建設

総事業費 約61.8億円



(庁舎イメージ)

交番・駐在所の改築

【予算額】9,599千円

【債務負担行為】960,769千円

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

地域住民の安全と平穏を確保するため、地域に密着した警察活動の拠点となる交番、駐在所を計画的に整備し、治安体制の強化を図る。

事業概要

1 交番・駐在所の改築（令和5～6年度建設） 9,233千円（令和6年度）

（1）交番・駐在所建設費（2か年事業、第2年次） 9,233千円

- ・令和5～6年度の2か年事業により、交番3か所・駐在所2か所を改築する。
交番 上小交番(大宮西警察署)、江戸袋交番(武南警察署)、越生交番(西入間警察署)
駐在所 吉見東駐在所(東松山警察署)、大河原駐在所(小川警察署)
- ・予算額は交番、駐在所に係る備品購入費等

2 交番・駐在所の改築（令和6～7年度建設） 366千円（令和6年度）・債務負担行為 960,769千円

（1）交番・駐在所建設費（2か年事業、第1年次） 366千円

- ・令和6～7年度の2か年事業により、交番7か所・駐在所3か所を改築する。
交番 浦和駅前交番(浦和警察署)、指扇駅前交番(大宮西警察署)、鳩ヶ谷交番(武南警察署)、八潮北交番(草加警察署)、南古谷駅前交番(川越警察署)、大井交番(東入間警察署)、せんげん台駅前交番(越谷警察署)
駐在所 東吾野駐在所(飯能警察署)、東駐在所(加須警察署)、田宮駐在所(杉戸警察署)
- ※建設費は、警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業を利用(債務負担行為設定)
- ・予算額は初年度据置利息

（2）交番・駐在所建設費（債務負担行為）（限度額 960,769千円）

期間 令和7年度～令和30年度、利率(見込)年1.700%

運営担当 運転免許課 次席
警察本部内線 702-211

工事担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

高齢運転者の増加に伴い、高齢者講習等の受講待ち日数の更なる増加が見込まれるため、高齢者講習等の専用施設を建設する。

事業概要

1 岩槻高齢者講習センターの新設 119,075千円（令和6年度）

(1) 高齢者講習施設庁舎建設費（3か年継続事業第3年次） 119,075千円

〔庁舎概要〕

- ・建設地 さいたま市岩槻区大字馬込字十番2100番5
(旧県立小児医療センター跡地)
- ・敷地面積 42,720.43㎡
- ・庁舎規模 鉄筋コンクリート造 2階建て
6,286.38㎡ (付属棟含む)

〔建設計画〕

- ・令和2年度 基本設計
- ・令和3年度 実施設計
- ・令和4～6年度 庁舎建設

総事業費 約69.9億円

令和6年5月開所予定



(庁舎イメージ)

担当 交通規制課 次席
警察本部内線 5161

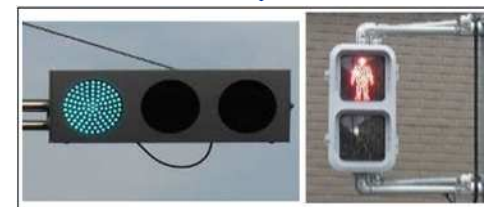
目 的

県民に「安全で快適な道路交通環境」を提供するため、老朽化した信号機等の更新、ゾーン30プラス等の安全対策を推進する。

事業概要

1 信号機の計画的な更新(ファシリティマネジメント)	2,769,108千円
(1) 信号制御機・車両感知器の更新	1,353,798千円
信号機をコントロールする信号制御機、車両感知器を更新する。	
(2) 信号柱の更新	192,618千円
信号機を支えている信号柱を更新する。	
(3) 信号灯器の更新(LED化)	1,161,227千円
老朽化した信号灯器をLED灯器に更新する。	
(4) その他(調査費等)	61,465千円
2 交通安全施設整備費	1,887,074千円
(1) 道路標識の更新	479,312千円
老朽化した道路標識を更新する。	
(2) 道路標示の補修	327,838千円
摩耗した横断歩道や停止線等を補修する。	
(3) ゾーン30プラスの整備	44,896千円
(4) 既設道路対策	140,814千円
既設道路の安全対策として、信号機の新設や道路標識等を整備する。	
(5) 新設道路対策	178,646千円
新設道路の安全対策として、信号機の新設や道路標識等を整備する。	
(6) その他(信号制御機の更新[回線変更]、大型標識撤去等)	715,568千円

信号灯器の更新(LED化)



ゾーン30プラス



ゾーン30及びスムーズ横断歩道の整備状況

担当 情報管理課 次席
 運転免許課 次席
 警察本部内線 2411、702-211

目的

警察情報管理システムの合理化・高度化を図り、県民の利便性向上と高度な警察活動を実現する。

事業概要

1 警察情報管理システムの標準化対応に向けた環境整備	564,645千円
(1) 運転者管理システム共通基盤化対応経費	416,271千円
<ul style="list-style-type: none"> ・警察共通基盤へのデータ移行 ・標準化連携の継続に向けたシステムの改修・開発 ・運転免許申請受付のオートメーション化を進めるための「申請自動受付装置」の整備 	
(2) 共通基盤対応情報共有化端末整備関係経費	14,268千円
警察共通基盤の運用に対応するための端末装置の整備	
(3) 警察行政のデジタル化推進に向けた環境整備	100,145千円
デジタル化推進による通信容量増大に対応したネットワーク環境の整備	
(4) 警察情報管理システムの合理化・高度化に向けた端末整備	33,961千円
警察情報管理システムの合理化・高度化に対応するための端末装置の整備	
2 マイナンバーカードと運転免許証の一体化対応に向けた環境整備	33,302千円
(1) マイナンバーカードと運転免許証の一体化関係経費	33,302千円
マイナンバーカードと運転免許証の一体化の運用に対応するための端末装置の整備等	

申請自動受付装置の整備



マイナンバーカード一体化専用端末の整備



オンライン講習の整備

